



子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）

平成29年度補正予算（案）
866百万円

事業目的・概要等

目的・事業概要

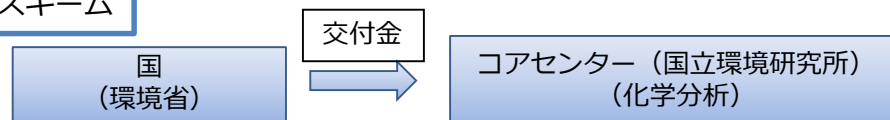
エコチル調査は、胎児期から小児期にかけての化学物質曝露が子どもの健康に与える影響を解明するために、長期的な追跡を行う大規模な疫学調査。事業は、平成22年度から平成44年度まで実施予定。

生体試料中の化学物質の分析等を前倒しして加速化することで、国際的にも有害性が着目されている化学物質について子どもの代謝・内分泌系等への影響に係る因果関係の解明が進み、医学・疫学・薬学の分野において大きな進歩が生まれ、生産性の向上に資することが期待される。

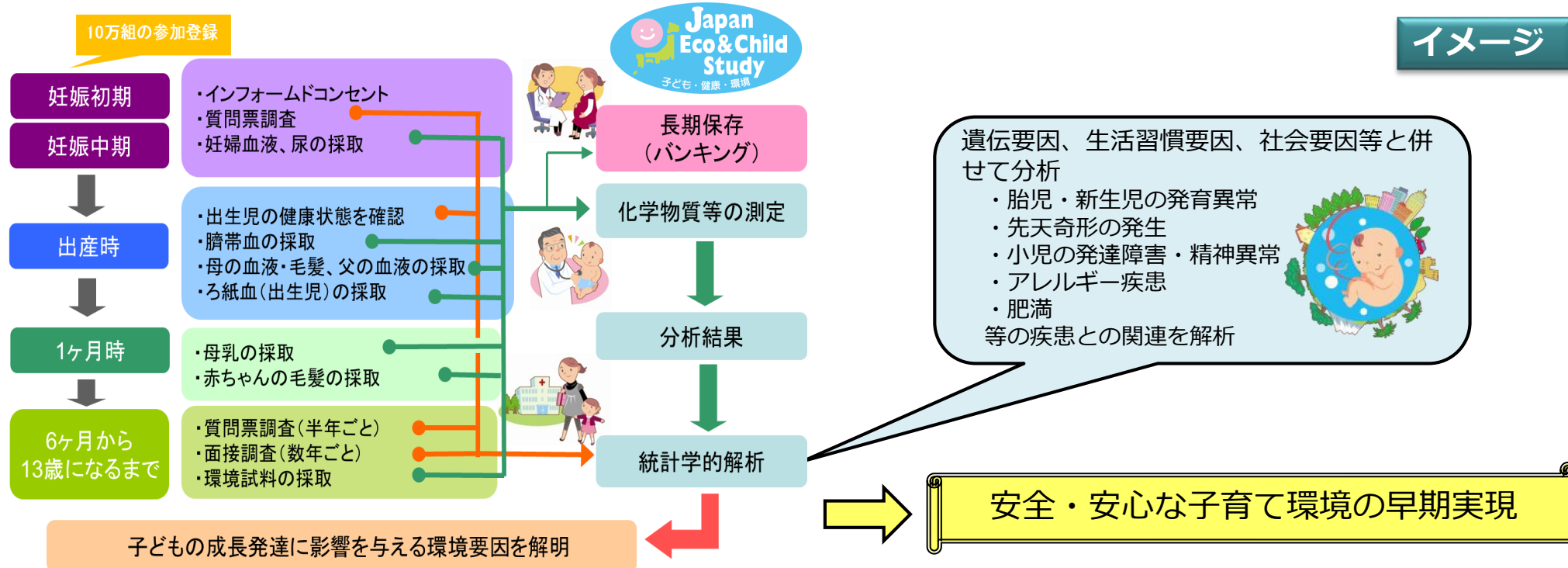
期待される効果

参加者から採取した生体試料をより安定的な状態で保存するために不可欠となる前処理作業を行うことで遺伝要因の把握が可能となり、もって環境中の化学物質が子どもの健康に影響を与える環境要因の正確な解明を実現させる。それにより、適切なリスク管理体制を構築し、安全・安心な子育て環境の早期実現と少子化対策への貢献に繋げる。

事業スキーム



イメージ



※2016年のG7富山環境大臣会合において高く評価され、推進すべきとされた。